


クラス	専門演習 103	担当教員	中西 哲彦
	テーマ	英語（外国語）学習法の習得と総合的英語力の向上	
	著書・論文 研究課題等	研究課題：日本国内における、効果的な外国語としての英語教授法と、指導者育成のための研修内容と方法について 著書論文：“New Trend of Teaching English Emerging in Japan”, International Networking for Educational Transformation, 共著, 2009.04	

ゼミナール概要

キーワード：時事英語・一般教養・外国語学習法・英語教授法・自立した学習者

目的、内容、方法等：

- 1 時事的な話題を扱った英文（ニュース報道、新聞、雑誌など）を教材にした学習を通じて、外国語学習法を総括し、生涯を通して、英語に限らず他の外国語を習得する「方法」の基盤を身につける。
- 2 1の活動を通して、外国語学習理論と教授理論を学ぶ。（学習法の裏返しが教授法にもなる。）
- 3 英語上級者（英検準1級、TOEIC750点以上）を目指す。
- 4 英語教授セミナーや研修会で、中学、高校の先生方との交流をはかり、英語教授者を目指す心構え、授業構成力や授業観察の基本、教授者マインドの基本を培う。

授業計画（スケジュール）：

- 1～5回 ニュース英語の学習を通して、言葉を「聞く」「読む」活動について、理解を深めるとともに、聞く力、読む力を向上させるための基本的な方法を習得する。新聞（日本語、英語）を読む習慣を身につける。
- 6回～10回 「聞く」「読む」活動から、発信する力を習得する方法を体験しながら習得する。
- 11回～15回 相手に発問をすることによって、相手が読む、聞く活動を通して得た情報や、その内容について考えたことや感想について引き出す方法を学ぶ。
- 15回目には、中間試験を実施する。①外国語を学習し、習得する方法と理論についての筆記試験 ②英文リスニング、リーディング試験（英検準1級レベルの問題が出題されます）③一般教養試験（日本語）
- 16～20回 学生自身がレスンリーダーとして、時事的な話題を扱った英文を教材としたリスニング力向上を目指した学習活動を行う。
- 21～25回 学生自身がレスンリーダーとして、時事的な話題を扱った英文を教材としたリーディング力向上を目指した学習活動を行う。
- 26～30回 外国語学習理論、教授理論を、体験しながらふりかえり、まとめる。
- 30回目には期末試験を実施します。①学習理論、教授理論についての筆記試験 ②時事的な話題についての英文を題材にリスニング、リーディング試験（英検準1級レベルの問題が出題されます）③一般教養試験（日本語）
- 月、火、水の昼休み12時40分～13時10分は、英語力向上のための「日々の練習」を行います。

担当教員からのメッセージ

本気で英語力を磨きたい学生のための内容になっています。英検2級以上の力がないと、脱落すると思います。毎日新聞を読む習慣も今から身につけておかないと、内容に太刀打ちできないと思います。

中学、高校、小学校の教師のための研修会の見学や参加は、授業のスケジュール以外で行います。

月、火、水は、昼休みの活動があります。